

あかふじ ニュース

第 16 号

発行 令和2年4月
山梨県消防防災航空隊



《山梨県ホームページ》
<http://www.pref.yamanashi.jp>

《やまなし防災ポータル》
<http://bosai.pref.yamanashi.jp>

山梨県消防防災航空隊
〒400-0108 山梨県甲斐市宇津谷 445-1
TEL 0551-20-3601
FAX 0551-20-3603
E-mail: bousai-kokuu@pref.yamanashi.lg.jp

- ・令和元年度(平成31年度)緊急運航実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- ・航空隊員研修会(甲府会場)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2～3
- ・台風第19号(令和元年東日本台風)に伴う災害対応・・・・・・・・・・ 4～5
- ・ヘリコプター等航空調整班 図上訓練・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
- ・山梨県消防防災航空隊 受援訓練・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
- ・他県防災航空隊視察研修・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
- ・初代あかふじJA6748機体搬出・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
- ・合同訓練等実施内容・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10～15
- ・退任隊員紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16～17

令和元年度(平成31年度)緊急運航実績

区分	件数 人員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
		救助	救助件数	5	4		1	18	10	17	9	8		3	3
救助人員	5		5			19	10	20	10	7		3	4	83	
救急	救急件数	6	3			9	9	10	7	6	1	2	6	59	
	搬送人員	6	3			10	9	10	8	6	1	2	8	63	
火災	災害件数	3	1									1	2	7	
	飛行回数	5	1									1	3	10	
災害応急 対策	災害件数							2						2	
	飛行回数							2						2	
件数小計		14	8		1	27	19	29	16	14	1	6	11	146	
相互応援・広域航空消防応援・緊急消防援助隊	救助	救助件数		1		1		3		3	2	2	3	15	
		救助人員		1		1		3		4	2	1	3	15	
	救急	救急件数		1		1		3		2	2	1	3	13	
		搬送人員		1		1		3		2	2	1	3	13	
	火災	災害件数	3						1	1					5
		飛行回数	6						2	1					9
	その他	災害件数													
		飛行回数													
	件数小計		3	2		2		6	1	6	4	3	6		33
	緊急運航並びに相互応援協定・広域航空消防応援・緊急消防援助隊の合計件数														179

3月31日現在

今年度の緊急運航件数は、上記表のとおり3月31日現在で179件ありました。

このうち、救助活動件数は県内外合わせて93件あり、県内活動が78件、相互応援協定等に基づく他県応援活動が15件でした。

緊急運航件数のうち、県内での救助活動が54%を占め、救急活動は40%、火災防御活動は5%、災害応急対策は1%、また、県外への応援活動は18%あり、長野県、群馬県、静岡県への応援活動でした。

航空隊員研修会（甲府会場）

7月2日・3日の2日間、山梨県立図書館で令和元年度第1回航空隊員研修会を開催しました。全国から95名の航空隊員等が参加し、開催地である山梨県消防防災航空隊の活動や山梨県警察本部の山岳遭難対応の事例発表に加え、脳死下臓器提供の航空機搬送、公的救助における医療救助の実態等幅広いテーマの講義が行われ、参加者は航空隊の多様な活動の現場を想定しながら熱心に耳を傾けていました。

「山梨県消防防災航空隊の概要と活動について」

山梨県消防防災航空隊 隊長 川田貴一



「消防防災ヘリコプターの運航に関する基準について」

総務省消防庁広域応援室 航空係長 殿谷英彦 様



「脳死下臓器提供の流れ～臓器搬送を中心に～」

公益社団法人 日本臓器移植ネットワーク

あっせん事業部コーディネーショングループ

グループ長 中山恭伸 様





「公的救助における医療救助の実態」
社会医療法人孝仁会 北海道大野記念病院
循環器内科医師 大城和恵 様



「山岳遭難の現状と対策について」
山梨県警察本部 生活安全部地域課
山岳警備安全対策隊長 宮城隆栄 様



意見交換会

7月2日の研修会終了後は意見交換会を開催し、日本航空高等学校太鼓隊の力強い演奏を披露していただきました。また、それぞれの航空隊の手技や救助方法について意見を交わし有意義な意見交換会となりました。



台風第19号（令和元年東日本台風）

に伴う災害対応

10月6日3時に南鳥島近海で発生した台風第19号は、大型で強い勢力を保ったまま、12日19時前に伊豆半島に上陸し、関東地方を通過した後、13日12時に日本の東海上で温帯低気圧に変わった。

台風第19号の影響による記録的な大雨により、12日15時30分に山梨県に対して県内で初となる警戒レベル5に相当する大雨特別警報が発令された。13日に温帯低気圧に変わったが、その後も前線や低気圧の影響により、18日夜から19日夕方にかけて関東地方から東海地方にかけての太平洋側では局地的に雷を伴った非常に激しい雨が降った。

山梨県の被害状況

人的被害	住家被害	被害額
軽傷者 1名	全壊 2棟	道路・河川 59億円
早川町（奈良田地区）において33世帯53人が土砂崩落により孤立	半壊 3棟	治山施設・林道 20億円
早川町（雨畑地区）において41世帯73人が土砂崩落により孤立	一部破損 67棟	農業関係 8億円
	床上浸水 1棟	その他 5億円
	床下浸水 6棟	被害総額 約92億円

山梨県の対応

10月12日10時00分 山梨県災害対策本部を設置
航空調整班を設置（当航空隊から室長及び副隊長を配置）

消防庁の対応

10月12日15時30分 大雨特別警報が発令された群馬県、埼玉県、東京都、神奈川県、山梨県、長野県、静岡県に対し、適切な対応及び被害報告について要請

緊急消防援助隊の活動等

10月13日 4時45分 消防庁から関係都道府県に対し、緊急消防援助隊の出動可能対数の報告及び出動準備を依頼（航空小隊）北海道、神奈川、富山県、石川県、山梨県及び静岡県

山梨県消防防災航空隊の活動

10月12日14時30分 山梨県防災局消防保安課長から上空偵察の要請

10月13日 6時32分 出場 上空偵察

7時49分 帰隊

10月13日11時15分 峡南消防本部から早川町（雨畑地区）の孤立集落から6名の救助要請

11時34分 出場

12時43分 孤立集落から5名を救出（1名は本人の意思により救出辞退）

12時50分 早川町役場職員へ5名引き渡し

13時03分 帰隊

10月13日12時10分 山梨県防災局消防保安課長から上空偵察の要請

15時05分 出場 上空偵察（県土整備部職員2名搭乗）

15時50分 帰隊

10月16日13時34分 峡南消防本部から早川町（雨畑地区）の孤立集落から1名の救助要請

15時13分 出場

15時41分 孤立集落から1名を救出

15時50分 早川町役場職員へ1名引き渡し

16時02分 帰隊



ヘリコプター等航空調整班 図上訓練

関係機関との連携強化及び航空調整班の効率的な運用調整の強化を図ることを目的とし、山梨県内で大規模水害が発生した想定により、山梨県ヘリコプター等航空調整班活動マニュアルに基づき山梨県災害対策本部（仮想）を設置、航空調整班活動拠点とした実践的な運用訓練を実施しました。また、本訓練は初の試みである関係機関を交えての訓練でしたが、航空調整班活動の流れや重要性について理解を深めることができました。

《訓練日》

令和2年1月24日（金）

《訓練場所》

山梨県消防防災航空隊 3階会議室

《訓練参加機関》

国土交通省 関東整備局 統括防災官

国土交通省 関東地方整備局 甲府河川国道事務所

国土交通省 関東地方整備局 富士川砂防事務所

陸上自衛隊 第1特科隊

山梨県警察本部 生活安全部 地域課

山梨県警察本部 生活安全部 地域課 警察航空隊

山梨県福祉保健部 医務課

地方独立行政法人山梨県立病院機構 山梨県立中央病院 高度救命救急センター

山梨県防災局 消防保安課

山梨県消防防災航空隊

海上保安庁 清水海上保安部

山梨県防災局 防災危機管理課



山梨県消防防災航空隊

受援訓練

関係機関との連携強化及び山梨県消防防災航空隊の受援体制の強化を図ることを目的とし、山梨県内で大規模水害が発生したとの想定により、航空小隊の受入れ、日本航空学園双葉滑空場（隣接する双葉ヘリポートを含む）をヘリベースとした実践的な運用訓練を実施しました。

《訓練日》

令和2年2月19日（水）

《訓練参加航空小隊》

長野県消防防災航空隊

山梨県消防防災航空隊



他県防災航空隊視察研修

静岡県消防防災航空隊・静岡市消防航空隊及び栃木県消防防災航空隊への視察研修を実施しました。大規模災害時における連携強化、消防防災ヘリコプターの効果的な運用及び安全管理体制の一層の充実を図ることを目的とし、施設見学、資器材説明、実機訓練参加、意見交換等を行い、非常に有意義な視察研修となりました。

静岡県消防防災航空隊・静岡市消防航空隊



栃木県消防防災航空隊



初代あかふじ JA6748

機体搬出

平成7年4月26日～平成30年7月10日までの23年間、総飛行時間6585時間、総出動件数2464件をもって退役した「初代あかふじJA6748」は、11月に山梨県消防防災航空隊基地から旅立っていきました。新たな地での活躍を期待しています。



合同訓練等実施内容

・山梨県防災新館屋上HP 離着陸及び上空偵察訓練

(平成31年4月22日：山梨県庁防災新館)

大規模災害発生時には、「あかふじ」に県災害対策本部を統括する幹部職員が搭乗し、被災状況を把握するとともに、効果的な活動調整を図るため、山梨県の防災拠点である防災新館屋上HPにおいて、離着陸訓練及び上空偵察訓練を実施しました。



・河口湖水面上事故救助訓練

(平成31年4月23日：河口湖湖上)

河口湖湖上において小型遊覧船から乗客が投げ出され2名が行方不明という想定で「あかふじ」が上空より捜索し、水難者1名をホイストにより救助しました。



・都留市消防本部合同訓練

(令和元年8月5日・17日：

当航空隊基地及び都留市総合運動公園)

山岳遭難等災害現場における救助活動の連携を目的とし、消防隊員の投入訓練及び救出救助訓練を実施することにより連携強化を図ることができました。



・上野原市消防本部合同訓練

(令和元年8月25日：秋山観光スポーツ広場)

消火活動時の連携が円滑に実施できるよう技術の向上を図ることを目的とし、消防団員によるバンビバケットへのポンプ給水を実施しました。



• 消防職員特別教育山岳救助研修

(令和元年9月9日：消防学校)

消防職員特別教育山岳救助研修生を対象に、消防学校において講義を行いました。



• 岐阜県防災航空隊合同訓練

(令和元年9月18日・19日：

清哲訓練場及び当航空隊基地)

岐阜県防災航空隊が視察研修のため来隊しました。清哲訓練場において救出救助訓練及び当航空隊格納庫において駐機訓練展示、資器材説明を実施し、相互の活動について理解を深めました。



• 東山梨消防本部合同訓練

(令和元年9月10日：広瀬湖)

消防隊との安全確実な協力体制の構築と効率的な連携活動の向上を図ることを目的とし、静水域における水難事故が発生したとの想定により、実践的な合同訓練を実施しました。



• 峡北消防本部合同訓練

(令和元年9月30日・10月4日：

当航空隊基地及び葎崎滑空場)

当航空隊基地において、搭乗・降機訓練、ホイスト同時降下による隊員投入訓練を実施、後日、葎崎滑空場において実機による隊員投入訓練及び救出救助訓練を実施しました。



• 航空祭

(令和元年10月5日・6日：
日本航空学園山梨キャンパス)

日本航空学園山梨キャンパスで行われた航空祭に参加しました。多くの観覧者が見守る中、救出救助訓練を展示し、航空隊の活動をPRすることができました。



• 甲府地区消防本部合同訓練

(令和元年11月8日：甲府記念日ホテル)

秋の火災予防運動に伴う総合防災訓練に参加し、甲府記念日ホテルから火災が発生したとの想定により、火災発生時の初動態勢として、被害状況把握のため上空偵察訓練を実施しました。



• 消防職員初任総合教育訓練

(令和元年10月11日：消防学校)

消防職員初任総合教育学生を対象に、消防学校において講義を行いました。



• 甲府市総合防災訓練

(令和元年11月10日：甲府市立南中学校)

甲府市内において震度6弱の地震が発生したとの想定により、災害発生時の初動態勢として、被害状況把握のため上空偵察訓練及びヘリテレ訓練を実施しました。



• 長野県危機管理部合同訓練

(令和元年11月15日：甲斐市)

大規模災害時における連携及び通信等を円滑に実施することを目的として、長野県が保有するヘリテレ小型受信装置を使用した訓練を実施しました。



• 国民保護実動訓練

(令和元年11月21日：

山中湖交流プラザきらら)

山中湖交流プラザきららにおいて化学爆弾が爆発し、多数の傷病者が発生したとの想定により、「あかふじ」は臨時SCU（山中湖交流プラザ）での広域医療搬送訓練を実施しました。



• 県民の日記念行事

(令和元年11月16日・17日：

小瀬スポーツ公園補助競技場)

小瀬スポーツ公園において行われた、県民の日記念行事に参加し、「あかふじ」の機体展示及び救出救助訓練展示を実施しました。



• 山梨県立中央病院合同訓練

(令和元年11月25日：清哲訓練場)

県内で発生する災害に迅速な対応を図るため、医師が「あかふじ」に搭乗するとともに、現場等から医師をピックアップすることも予測されることから、相互の円滑な連携活動を確立することを目的に訓練を実施しました。



• 甲府地区消防本部合同訓練

(令和元年12月5日・6日:

当航空隊基地及び敷島総合多目的運動場)

当航空隊基地において、搭乗・降機訓練、ホイスト同時降下による隊員投入訓練を実施し、翌日、敷島総合多目的運動場において実機による隊員投入訓練を実施しました。



• 南アルプス市消防本部合同訓練

(令和元年12月16日:

当航空隊基地及び清哲訓練場)

当航空隊基地において、午前に搭乗・降機訓練、ホイスト同時降下による隊員投入訓練を実施、午後に清哲訓練場において実機による隊員投入訓練を実施しました。



• 防災局合同訓練

(令和元年12月10日・11日:清哲訓練場)

防災局職員が航空隊の救出救助訓練に参加することにより、同職員の航空消防防災活動に対する理解を深めるとともに、山梨県の防災体制の更なる充実強化を図ることを目的に訓練を実施しました。



• 埼玉県緊急消防援助隊 航空小隊受援訓練

(令和2年1月22日:埼玉県防災航空隊基地)

埼玉県内での大規模災害の発生を想定し、ヘリベースを拠点とした実践的な訓練を実施することで、関係機関との連携強化及び受援時のヘリベース運用について理解を深めることができました。



• 山梨県消防協会甲府地区支部
林野火災対応訓練

(令和2年2月23日：当航空隊基地及び甲府市)

林野火災時における情報収集要領の習得及び災害対応力向上を図るため、講義及び団長、副団長は「あかふじ」に搭乗し、地形及び給水ポイントを把握するため上空偵察訓練を実施しました。



退任隊員紹介

S-76D

隊長 川田 貴一

(甲府地区消防本部)

救助活動	102件
救急活動	5件
火災防御	25件
その他	2件
出動合計	134件
救助人員	105名



副隊長 土橋 辰徳

(富士五湖消防本部)

救助活動	90件
救急活動	5件
火災防御	26件
その他	6件
出動合計	127件
救助人員	96名



令和2年3月31日付けをもちまして3年間の任期を終え、派遣元消防本部に帰任いたします。

各消防本部並びに各関係機関の皆様には、航空隊在任中のご支援ご協力に対しまして、厚くお礼申し上げます。

派遣元消防本部に帰任後も、これまでと変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

隊長 川田 貴一

副隊長 土橋 辰徳

YAMANASHI

あかふじ

AIR RESCUE

